

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより



3月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
まちの上の朝市を
運営するみなさん

特集	うえのはらで頑張る人	2
	議長あいさつ・議員紹介……	4
	新議会の構成……	6
	会期中の審査……	7
	定例会で決まった主なこと…	8
	議決結果一覧表……	10
	予算特別委員会……	12
	一般質問……	15
	市民の声……	20



まちの朝市



OPEN AIR LAB

うえのはらで頑張る人 Vol.26 まちの朝市を運営するみなさん



帝京科学大学内で行われている【まちの朝市】を共同運営する、Lmm (Local morning market の略称) 実行委員会とOPEN AIR LAB(オープン エア ラボ)の皆さんにお話を伺いました。

地域交流と自然との共生を
テーマに地域の魅力を発信！

朝市を行うきっかけ

■ 上野原のまちで日常の中に定期的に顔を合わせる場所を作りたいと思っていたのが始まりで、上野原に朝市がないことから朝市をやってみないかという事になりました。

■ 交流のあった帝京科学大学の OPEN AIR LAB の館長にお話を持ち掛け、OPEN AIR LAB が運営している帝京科学大学内の『ブリコラ』という施設で行うのはどうかとなりました。



■ OPEN AIR LAB は【自然との共生】を Lmm は【地域交流】を目的にしていることからお互いの目的を一緒にして朝市を共同主催しようと言った流れになりました。

活動はいつから

■ 2021年春ごろ大学側に構想を持ち掛けて、何回か協議を重ねていき2021年11月

に第1回目を開催することになりました。

活動は月1回を目安に開催しています。大学との兼ね合いで1〜3月を冬休み、8月を夏休みにしています。1〜3月は出店者の野菜が減る時期なので丁度良かったです。



どのようなグループ

OPEN AIR LABの館長からは、上野原の歴史的建造物と言える上野原市織物組合の建物が解体されるという時に、その廃材を用いて大学内にブリコラという建物を作るといったお話を伺っていました。一度見学をした時に朝市の開催と地域に開かれた場所のイメージが湧いてきました。



どのような活動

朝市は誰でも出店できるのではなく、上野原周辺に関わっており地域の魅力を発信でき、地域交流を楽しみすることを第一に考えている方たちに出店してもらっています。大学生が手掛けるワークショップを提供

しています。来場されたお子様に楽しんでもらえるようなブースです。なおかつ自分達の学業に関わるようなものを売出してもらっています。

自然との共生がテーマの一つでもあるため、お客さんもマイバック、マイボトル、マイカップをもって買い物に来ていただいています。



苦労していること

出店者の調整に多くの時間とエネルギーを費やすことです。それでも開催することに。パッションや想いを持ち続け、誰でもOKではなく、私達が出てもらいたいと思う人達に粘り強く声をかけていきたい。



キッチンカー作りに苦労しました。食品衛生の問題で、現場調理が可能なキッチンカーがどうしても必要になり、夏に大学の駐車場でワークショップとして作製しました。

今後の展望

出来る限り長く続け、地元の生活になじむ形にしていきたいです。

昨年は多くのお客さんに来ていただきましたが、学生の来場者が少なく、もっと学生の来場者を増やしたいです。

週末にショッピングモール等に買い物に行かれる方が多い中で、市内に月1回でも家族でパッと車を走らせれば、魅力あるものが買え、魅力ある人達と交流できる場所になりたいです。



議会や行政への要望

行政からは現在、移住促進ブースが出ていますが、議員の皆さんにはまずはプライベートで来てもらい、そこで皆さんが出来るような事を思いついてもらえればいいかなと思います。ただ内容によってはお断りする可能性もありますが(笑)

取材を終えて

こだわり、パッションそして地域への想いをすごく感じる皆さんで、そんな方達が運営する朝市はとても魅力的な人、物があふれる市なのだと感じました。次回の朝市は6月3日午前9時から正午までの開催だそうです。是非、皆様もこの魅力的な人、物があふれる朝市に行ってみてはいかがでしょうか。



山口 薫副議長



遠藤美智子議長

議長就任のあいさつ

議長 遠藤美智子

市民の皆様には、平素より市議会に対しまして深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

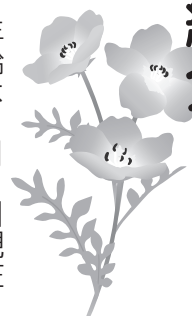
この度、令和5年2月第1回臨時会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、第19代議長に就任いたしました。大任を仰せつかり、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。もとより微力ではございますが、決意を新たに、公正かつ円滑な議会運営に最善の努力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

二元代表制の一翼を担う議会として、市政の監視機能を果たしつつ、市民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、積極的に政策立案や提言に取り組み、議会としての役割を果たしてまいりますと考えております。

超少子高齢化が着実に進んでいる現在、当市においても直面する課題は多岐にわたり、今後も引き続き、少子高齢化対策をはじめ、新型コロナウイルス対策、原油価格・物価高騰対策、災害対策、環境問題等、市民の安全・安心を確保するとともに、活力ある上野原市の実現へ全力を尽くしてまいります。

今後とも、上野原市議会の活動に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、議長就任のご挨拶とさせていただきます。

議員紹介



年齢は5月1日現在

議席番号1番

天野淳一 当選回数1回



年齢42歳 無所属
総務産業常任委員会
議会だより編集常任委員会

議席番号2番

佐藤澄男 当選回数1回



年齢64歳 無所属
文教厚生常任委員会
議会だより編集常任委員会

議員紹介

議席番号3番

清水一明 当選回数1回



年齢65歳 無所属
総務産業常任委員会

議席番号4番

安留俊介 当選回数1回



年齢67歳 無所属
総務産業常任委員会
議会だより編集常任委員会

議席番号5番

小俣 崇 当選回数1回



年齢73歳 無所属
文教厚生常任委員会

議席番号6番

内田倫弘 当選回数2回



年齢46歳 無所属
総務産業常任委員会
議会だより編集常任委員会

議席番号7番

八木一雄 当選回数2回



年齢72歳 無所属
文教厚生常任委員会

議席番号8番

山口 薫 当選回数2回



年齢72歳 無所属
総務産業常任委員会
議会だより編集常任委員会

議席番号9番

白鳥純雄 当選回数3回



年齢59歳 無所属
文教厚生常任委員会

議席番号10番

遠藤美智子 当選回数3回



年齢67歳 公明党
総務産業常任委員会

議席番号11番

川田好博 当選回数3回



年齢75歳 日本共産党
文教厚生常任委員会
議会だより編集常任委員会

議席番号12番

東山洋昭 当選回数4回



年齢68歳 無所属
文教厚生常任委員会

議席番号13番

杉本文 当選回数5回



年齢71歳 上野原市民オンブズ
マン
総務産業常任委員会

議席番号14番

長田喜巳夫 当選回数5回



年齢74歳 無所属
文教厚生常任委員会



総務産業常任委員会

内田倫弘 山口 薫 清水一明
遠藤美智子 ○天野淳一 ◎安留俊介 杉本公文



文教厚生常任委員会

八木一雄 白鳥純雄 佐藤澄男
東山洋昭 ○小俣 崇 ◎川田好博 長田喜巳夫

議会だより編集常任委員会



佐藤澄男 安留俊介 天野淳一
○川田好博 ◎内田倫弘 山口 薫

議会運営委員会



清水一明 安留俊介 佐藤澄男
○八木一雄 ◎杉本公文 川田好博

◎委員長 ○副委員長

総務産業常任委員会

委員長 安留俊介
副委員長 天野淳一
委員 清水一明
内田倫弘
山口 薫
遠藤美智子
杉本公文

3月6日、委員会を開催し、付託された条例制定7件について審査しました。

議案第3号「上野原市新田水防会館条例を廃止する条例制定について」は、道路拡幅により解体したため、設置・管理に関する条例を廃止するものです。

Q 跡地の活用は？

A 地域からの要望もあり集会所を建設します。

議案第4号「上野原市職員定数条例の一部を改正する条例制定について」は、消防防災体制の充実を図るため消防職員の定数を53名から57名に改めるものです。

議案第7号「上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について」は、令和5年度に支給する市長、副市長及び教育長の期末手当を年間0・6月減じて支給するものです。

議案第8号「上野原市長の給与の特例に関する条例制定について」

は、令和5年度に給料の百分の五十を減額するものです。

Q 減額した給料の使い道は？

A 妊婦応援給付金やコロナのPCR検査補助金などへ充ててきたが、今後は子育て関連などの事業へ充てたい。

他の2案件を含む7案件について採決した結果、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。



文教厚生常任委員会

委員長 川田好博
副委員長 小俣 崇
委員 佐藤澄男
八木一雄
白鳥純雄
東山洋昭
長田喜巳夫

3月6日、委員会を開催し、付託された条例制定7件を審査しました。

議案第10号「上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について」は、出産育児一時金を、40万8千円から48万8千円へ増額するもので、変更の無い産科医療保障制度の加算分1万2千円と合わせて50万円の支給とするものです。

議案第15号「上野原市医療技術者修学資金貸与条例の一部を改正する条例制定について」は、医療技術者を確保するため、連帯保証人の居住要件等を緩和し、幅広く修学生を募集するものです。

委員から、連帯保証人の要件の質問があり、返済能力があることを確認するが、親族等でなくても可能とのことでした。

議案第16号「上野原市老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について」は、秋山老人福

祉センターの指定管理終了に伴い、八ツ沢老人福祉センターと同様に、市長が管理するものです。

採決を行った結果、議案第15号は、収入要件の規定が必要との修正案が提出されましたが、賛成少数で否決。原案については賛成多数により、他6案件については、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

こども園、学校等の安全確保、安全教育について閉会中の視察調査をすることに決定しました。



3月
定例会

定例会で決まった
主なこと

令和5年第1回定例会が3月2日から22日
まで21日間の会期で開かれました。

審議された議案

市長提出議案

54件

※ 議案名・議決結果等は10〜11ページをご覧ください。

議案第10号

上野原市国民健康保険条例の一部を改定する条例制定について

条例
改正

出産育児一時金が増額

出産育児一時金の「40万8000円」が「48万
8000円」に増額になりました。

令和5年4月1日から

議案第15号

上野原市医療技術者修学資金貸与条例の一部を改正する条例制定
について

条例
改正

医療技術者修学資金貸与の緩和

医療技術者を目指す修学生を確保するため、連帯保
証人の市内居住要件を緩和し幅広く修学生を募集する
ための条例改正です。施行期日 令和5年4月1日

議案第4号

上野原市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

条例
改正

消防職員が4名増員されます

上野原市の消防職員の定数を53人から57人に定める
ものです。

議案第5号

上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定について

条例
改正

高速道路を使用する派遣職員に
通勤手当を支給

職員の派遣等により、通勤に新幹線の特急等、高速
道路を利用する場合、通勤手当を半額支給する。上限
2万円。

議案第6号
議案第7号

上野原市旅費等の特例に関する条例制定について
上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定に
ついて

議案第8号

上野原市長の給与の特例に関する条例制定について

条例
制定

市長等の給与等を減額する特例

財政上の理由から、次の3項目を1年間の特例とす
る。

- 1 職員の旅費を支給する時、日当を支払わない。
- 2 市長、副市長及び教育長の期末手当を年間
0・6月減額する。
- 3 市長の月給、期末手当を半額とする。

議案第17号

令和4年度上野原市一般会計補正予算(第7号)

正算
補正

補正総額3億483万1千円の
予算計上

主な事業費

- ゆずりはら自然の里リニューアル事業費補助金
8500万円(内一般財源4250万円)
- 水道企業団生活基盤施設耐震化等事業費増額
8084万2千円(内一般財源914万2千円)
- 生活バス路線維持費補助金
2909万2千円
- 商店街応援キャッシュレス決済利用促進事業費増額
1962万7千円
- 消防本部ヘリポート改修工事
1809万5千円

議案第56号

令和4年度上野原市一般会計補正予算(第8号)

正算
補正

補正総額3980万円予算計上

主な事業費

- 地方創生関連事業費
(企業版ふるさと納税紹介手数料) 55万円
- 道路維持費
(市道鶴川野田尻線拡幅改良工事関連事業費)
3千325万円
- 企業版ふるさと納税基金費
(企業版ふるさと納税の増額に伴う積立金の増額)
600万円

議案第49号～51号
議案第52号～53号
議案第54号～55号

上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任について
上野原市教育委員会委員の任命の同意について
人権擁護委員候補者の推薦について

人事
案件

各種委員会委員の推薦と同意

上野原市固定資産評価審査委員会委員

- 志村 正仁 氏
- 杉本 茂 氏
- 青木 光昭 氏

上野原市教育委員会委員

- 渡辺 一雄 氏
- 大場 卓 氏

人権擁護委員

- 岡本 和洋 氏
- 石井 千春 氏

議案第16号

上野原市老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について

条例
改正

市老人福祉センターの管理が
社会福祉協議会から市長に変更

社会福祉協議会は老人福祉センター(旧秋山村YLO会館)において運営していたデイサービスを令和5年3月31日に終了し、指定管理受託も期間満了になることから、指定管理の継続は行わないこととし、4月1日から市長が管理することとしました。

なお、学童保育については継続し、今後の施設利用については、地元の意見を聞きながらより良い方法を検討していくことです。

令和5年第1回定例会議決結果等一覧表

第1回定例会

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	案 件 名	付託委員会	天野淳一	佐藤澄男	清水一明	安留俊介	小俣 崇	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	杉本公文	長田喜巳夫	審議結果	
8	上野原市長の給与の特例に関する条例制定について	総務産業	○	●	●	○	○	○	◎	●	○	議長	○	●	○	○	可決	
25	令和5年度上野原市一般会計予算	予算特別	○	○	○	○	○	○	○	○	○		◎	◎	○	○		○
26	令和5年度上野原市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	◎	○	○		○
27	令和5年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	◎	○	○		○

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
3	総務産業	上野原市新田水防会館条例を廃止する条例制定について	可決
4		上野原市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	
5		上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定について	
6		上野原市旅費等の特例に関する条例制定について	
7		上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	
9		個人情報の保護に関する法律の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	
10		上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	
11	上野原市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例制定について		
12	上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		
13	上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		
14	上野原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		
15	上野原市医療技術者修学資金貸与条例の一部を改正する条例制定について		
16	上野原市老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について		
17	令和4年度上野原市一般会計補正予算（第7号）		
18	令和4年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		
19	令和4年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
20	令和4年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第3号）		
21	令和4年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）		
22	令和4年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		
23	令和4年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）		
24	令和4年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第2号）		
28	令和5年度上野原市介護保険特別会計予算		
29	令和5年度上野原市介護サービス事業特別会計予算		
30	令和5年度上野原市公共下水道事業特別会計予算		
31	令和5年度上野原市簡易水道事業特別会計予算		
32	令和5年度上野原市教育奨励資金特別会計予算		
33	令和5年度上野原市大目財産区特別会計予算		
34	令和5年度上野原市甲東財産区特別会計予算		
35	令和5年度上野原市巖財産区特別会計予算		
36	令和5年度上野原市島田財産区特別会計予算		
37	令和5年度上野原市上野原財産区特別会計予算		

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

令和5年第1回定例会議決結果等一覧表

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果	
38	予算特別	令和5年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	
39		令和5年度上野原市小金沢土室山恩賜県有林財産保護組合西原分収益事業特別会計予算		
40		令和5年度上野原市秋山財産区特別会計予算		
41		令和5年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算		
42		令和5年度上野原市病院事業会計予算		
43	-	上野原市和見辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	可決	
44		上野原市沢渡辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について		
45		上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について		
46		上野原市飯尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について		
47		上野原市秋山安寺沢辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について		
48		上野原市寺下辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について		
49		上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について		同意
50		上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について		
51		上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について		
52		上野原市教育委員会委員の任命の同意について		適任
53	上野原市教育委員会委員の任命の同意について			
54	人権擁護委員候補者の推薦について	適任		
55	人権擁護委員候補者の推薦について			
56		令和4年度上野原市一般会計補正予算（第8号）	可決	

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

第1回臨時会

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
1	-	監査委員の任命の同意について	同意
2		監査委員の任命の同意について	

人事案件

監査委員

監査委員の任命の同意

安藤 松男
長田喜巳夫

議案第1号～2号 監査委員の任命の同意について

選挙当選者
議長 遠藤美智子
副議長 山口 薫
東部地域広域水道企業団議会議員
安留 俊介
八木 一雄
山口 薫
川田 好博
杉本 公文
山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員
内田 倫弘
富士・東部広域環境事務組合議会議員
天野 淳一
小俣 崇

2月21日、令和5年第1回臨時会が開かれ、議長などの選挙が行われました。

5年度
予算

当初予算の審査を行いました



副委員長



委員長

令和5年度の予算規模

一般会計

歳入・歳出

111億6372万8千円

前年度比 3.2%減

特別会計（16会計）

歳入・歳出

73億2971万5千円

前年度比 0.4%増

第1回定例会で、議長を除く13人の議員で構成される予算特別委員会が設置されました。予算特別委員会は、令和6年第1回定例会前日までの間、当初予算及び委員会付託を省略した以外の補正予算について審査をします。

委員長に山口薫議員、副委員長に天野淳一議員を互選しました。

議案第25号から第42号までの令和5年度一般会計予算、各特別会計予算及び病院事業会計予算、合わせて18件について、3月8日、10日、13日の3日間にわたり、予算特別委員会で審査が行われました。まず、各課から担当職員の出席を求め、課別の質疑が行われました。最終日の午後は市長以下全ての部課長の出席を求め、総括質疑が行われました。総括質疑を含め、90件の質疑が行われました。

議案第25号、第26号、第27号については、異議があったので起立採決を行い、可決すべきものと決まりました。他の15案件は全会一致で可決すべきものと決まりました。

以下、いくつかの項目の質疑について、その概略を載せます。

結婚相談所

Q 結婚支援業務の支援は具体的にどのようなになっていますか。

A 結婚相談所の運営は、10名の結婚相談員の方が毎週日曜日の午前中開催し、対応しています。



給食調理場について

Q 現在何食作られているのか。問題点や課題点は。

A 令和4年度上野原調理場454食、四方津調理場931食です。現在、給食施設の基礎調査中です。結果を基にして給食のあり方の検討委員会を設置し諸問題について検討していきます。

福祉タクシーについて

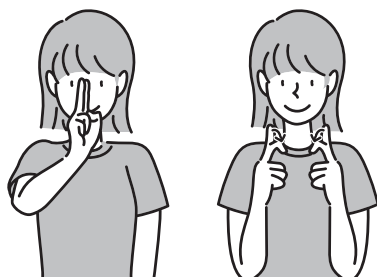
Q 福祉タクシー利用助成の件数とその実績は。

A 現在、福祉タクシー利用助成の申告をされている方は、27名（令和4年度）の方が利用しており、配布しているタクシー券のうち、概ね5割程度が利用されています。

ありがとう



こんにちは



手話奉仕員要請講座

Q 手話奉仕員養成講座事業について。

A 基礎課程において手話方針育成カリキュラムにそって講習を実施します。過去にも実施しておりますが、市民のみなさんに手話を触れていただける機会を提供していきます。

なら枯れ対策

Q なら枯れ対策の燻蒸はいつ頃するか。

A 県の要綱で6月ごろまでのカシノナガキクイムシの羽化以前にすることとなっているので、梅雨入り前までに実施する予定です。また、大径木を伐採し、萌芽更新すると予防になると言われているので、今後検討していきます。

オムツの医療費控除証明書

Q オムツの控除証明書手数料事業の内容と実績は。

A 介護認定を受けており、医師よりオムツが必要と診断されている方が対象の事業です。初めての方は病院より証明書が発行されますが、2年目以降で引続き診断されている方は市役所でも発行できます。実績については令和4年度1件です。

運転免許証返納者支援

- Q 高齢者運転免許証自主返納支援事業交付金 12,000 円を増額できないか。交通弱者に対し上野原市は手厚い支援をしていると示すべきであるし、業務の電子化も検討して欲しい。
- A 免許証自主返納支援事業の金額と、支援業務が紙ベースで行われていることについて、財政経営課等も交えて協議し検討して行きたいと思います。

都市計画道路の整備について

- Q 都市計画道路の見直しについての考え方は、基本的に全 10 路線のうち、何路線か残し他は廃止を前提としているのか。
- A 見直しは、令和 4 年度から全 10 路線を対象にしていますが、一部の廃止も含めて検討しています。都市計画道路の管理は県にありますので、県に市の実情を話し協議を続けていきたいと思っています。

職務上必要な資格について

- Q 職務上必要な資格の取得は。
- A 取得する資格によって対応しているが、防火管理者や運転管理者など明らかに行政目的で取得する資格については公費で負担する方針としたい。

航空写真の活用

- Q 固定資産税徴収用航空写真を実際どのように活用しているのか。
- A 地方税法の中で年に一度現地調査をしなければならないとなっています。少数の職員では、すべての固定資産を現地調査ができません。逐条解釈の中で、航空写真での確認を現地調査と同等とするとされているので、そのような活用をしています。

住宅用蓄電池システム

- Q 1 件の上限額 10 万円で 20 件分という数字の根拠と事業の効果は。
- A 山梨県内で同事業を行っている市を調査したところ、申請件数が 20 件前後で補助額が 10～15 万円が多い事からこの数字になりました。事業の効果としては 1 年で 1 件 830 kg -CO₂ 削減できるため 20 件分で 1.6 トン -CO₂ の削減見込みです。

ふるさと納税について

- Q ふるさと納税の全体像を。
- A 令和 4 年度の見込みでは、市への寄付額は約 7500 万円、経費は約 3400 万円で、残は約 4100 万円となり、逆に市からの寄付金の流出は約 2500 万円となっています。ただし、流出額の 75% は交付税措置されるので約 3500 万円のプラスとなります。

物価高騰、市民への支援を
ニーズに合った公共交通網を



川田好博

生活環境の整備、消防勤務体制



白鳥純雄

質問 電気料金の高騰に対して、市民や企業に支援が必要だと思いが。

答弁

さんあると思うが。「結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり」の実現に向けて、必要な施策というものを検討していきます。

答弁 国の動向を見ながら、必要な支援を検討します。

答弁

可燃家庭ゴミの減量化や分別回収等、有料化への取り組みについて伺います。

質問 電気料金高騰で資金不足が懸念されている東部地域広域水道企業団への支援は。

質問

市民のニーズに合った公共交通網をつくる必要があると思うが。

答弁 要請があった場合には、水道企業団、上野原市、大月市の3者で協議検討していきます。

答弁

利用者ニーズに応じて適切に配置・運行するとともに、交通手段相互の連携を円滑にし、利便性の高い公共交通網の形成をめざします。

質問 14歳以下の人口減少は子どもを産む年代の減少ではないか。

質問

デマンドタクシーの上野原駅乗り入れを検討すべき。

質問 教育費の負担を軽減するために学校給食の無料化を小中全学年にすべきでは。

答弁

地域公共交通活性化協議会の場で協議を重ねていきたい。

答弁 給食施設の状況や諸課題の解決のめどをつけてから検討していきます。

質問

生活環境の整備で、水道の問題解決には、市民との話し合いの場を持つようにと伝えてあるが、当局の考えを伺います。

質問 高校生、大学生へのパソコン購入時の助成、国民健康保険の子どもの均等割の廃止などやるべき課題がたく

答弁

今年度は、各水道組合宛に課題や困っている事を記入する報告用紙を発送しまし



他に、人口減少問題、少子化の取り組みについて質問しました。

緊急時の本署への部隊集約を削減し、出張所の常勤体制確保や立入検査、救命講習などの開催件数増加などに対応し、市民の安心・安全確保に務め、市民サービス向上に繋がります。

月見が池耐震化と通学路の整備
及び文化財施設の開設について



八木一雄

持続可能な上野原のために
将来を見据えた政策を！



山口 薫

質問 市中心部に立地する灌漑用ため池「月見が池」の耐震調査結果と今後の対応は。

答弁 平成27年度実施の「ため池一斉点検」及び令和4年度実施の耐震性詳細調査により、堤体下流側法面の耐震性能を高める必要性和洪水吐などの施設にも老朽化が顕著に見られることから、県は、国との協議を踏まえ令和5年度より県営事業として対策を開始します。市としても下流側水路の越流防止対策や護岸擁壁の老朽化対策を県と協議しながら鋭意取り組んでいきます。

質問

は3年目となる来年度中の完了を強く求めます。文化財常設展示施設の開設に向け、令和5年度の事業計画で施設整備案と設計予算が計上されました。担当課の組織の強化・充実を図る為の人員配置として特に学芸員の増員計画は。学芸員の資格を持った人材の配置を要望しており、確保したいと考えています。開設（開館）予定は令和7年4月の予定となっているが、計画の前倒し検討は。今後、設計業者と打合せを行う中で検討し、少しでも早められるよう詰めていきたいと考えています。

答弁

学芸員の資格を持った人材の配置を要望しており、確保したいと考えています。開設（開館）予定は令和7年4月の予定となっているが、計画の前倒し検討は。今後、設計業者と打合せを行う中で検討し、少しでも早められるよう詰めていきたいと考えています。

質問

今後、設計業者と打合せを行う中で検討し、少しでも早められるよう詰めていきたいと考えています。

答弁

今後、設計業者と打合せを行う中で検討し、少しでも早められるよう詰めていきたいと考えています。

答弁

市内点検箇所39箇所の内、本年度中に20箇所の整備が対策完了。来年度以降も継続して対策を講じます。

質問

令和3年通学路「児童死傷事故」を受けての全国一斉緊急点検の整備状況は。

意見

児童・生徒への安全対策は最優先。残り19箇所の整備



質問

NTT光のエリア拡大は、地域の情報格差を解消するため、時間差をつけず極力同時期に行つて欲しい。

質問

5年間で市内全域のエリア拡大に向け、NTTと続いて交渉を進めていきます。

質問

脱炭素社会実現に向けて、市の長期的対策として、市民が協力しやすい、具体的な二酸化炭素削減目標と計画が必要であると思うが。

質問

画が必要であると思うが。目に見える計画は重要ですので、市としての削減目標を立て、市民と共に二酸化炭素削減に向け、着実に取り組んでいきます。

答弁

目に見える計画は重要ですので、市としての削減目標を立て、市民と共に二酸化炭素削減に向け、着実に取り組んでいきます。

答弁

防災訓練は、自助・共助に必要な初期消火や応急手当等身近な訓練が重要だと思います。現在指導している消防署の事務分掌に、「防災指導」の項目を入れるべきであると思うが。

質問

その事につきましては、今後、関係部課と協議し検討

答弁

その事につきましては、今後、関係部課と協議し検討



NTT東日本とのフレッツ光に関する協定について



東山洋昭

質問

当市は、平成16年度から平成23度にかけて、高速光通信網が、情報通信基盤整備事業によって整備され、約100%の敷設率となっております。にもかかわらず、新たに728回線をNTT東日本と協定を結び敷設する必要があるのであるのか。またこの事業における、市の負担額は4年間で4億円強。財源は過疎対策債を利用するということです。過疎対策債は人口減少、子育て支援、移住・定住、医療、福祉、障害者支援、水道の整備、そついうものに使つべきものではないか、立ち止まつて考えたらどうか。

答弁

今の情報通信基盤のことに關して、これでは公平でない、格差があり過ぎるということですので。またこのことを諮問した、市情報基盤整備検討委員会の答申どおりのことをしっかりとやっ



ていきたいと思っております。

意見

検討委員会では情報基盤整備事業について、このまま継続すべきだと答申しています。改めてNTT東日本に任せなさいと書いてはありませぬ。過疎対策債は有利な地方債です。今を生きる私たち、住民の要望をもっと聞いていただきたい。

他に、過疎地域持続的発展計画の基本方針、そして計画期間等、市観光協会の評価と課題について質問した。

情報通信事業について



安留俊介

質問

NTT光回線敷設のスケジュールは。

答弁

令和5年度から9年度までの5年間で事業を完了する予定になっています。

質問

整備費用の算出根拠は。

意見

市の不利益にならないよう精査するなど慎重な対応をお願いする。

質問

UBCとNTTフレッツ光の具体的な比較について。

答弁

UBCは上り下りともに100メガで、利用料金とルーターレンタル料を合わせて月額5280円になります。

一方、UBCと同レベルのフレッツ光は、上り200メガ、下り100メガで利用料金にプロバイダーサービス利用料金を合わせて6270円から、2年割引



を申し込むと5500円からとなります。

質問

音声告知サービスが終了するが、それに代わるサービスが必要ではないか。

答弁

防災ラジオや個別受信機の設置、防災アプリの活用など様々な手段が考えられますが、機器代や設置費、運用費などが必要になることから、将来を見据えた中で検討していきます。

意見

特に防災情報は、市民の生命財産に関わることなので、情報弱者と言われる市民を減らす施策も積極的に展開されることを期待する。

人口減少時代を迎えての
まちづくりについて



小俣 崇

質問 少子高齢化社会における人口増加対策。

答弁 今後も少子高齢化は進行するため、人口増加はかなり難しいと考えております。急激な人口減少が少しでも緩和するよう取り組んでいきます。

質問 山梨県との連携に向けた強化策。

答弁 山梨県においては、定期的に総務部の理事を含む職員が市役所に来庁し、県の事業説明や市の課題、要望等をヒアリングしています。今後も、こうした機会を活用するとともに必要に応じて市長が地元選出県議とも連携をとりながら、知事と直接対話するなど、山梨県と連携した取り組みを推進していきたいと思えます。

質問 人口減少の進行を踏まえた市財政の展望。

答弁 今後も、限られた公有財産の有効活用やふるさと納税

への対応など、様々な取り組みを重ねながら、財政健全化のみならず地域活性化も念頭に、自主財源の確保に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

他に、公文書管理と認証アーキビストについて質問しました。

地域公共交通等について
利便性の向上と買い物難民対策は



杉本公文

質問 要望の多い駅への乗り入れや土日運行など、デマンドタクシーの利便性の向上への取り組みは。

答弁 現在、策定中の市地域公共交通計画の中で、デマンドの在り方の検討で、5年度に協議を行い、6年度以降可能であれば実証運行を進めていく計画です。

質問 富士急バス路線への補助金は本年度は、請求額100%の3千万円となった。今後も赤字路線の赤字額100%の補助を続けるのか伺う。

答弁 補助率に関しては事業者に収支の改善策を求めており、その後見直しについても協議をする予定です。

質問 コミュニティバス等の運行を検討する考えは。

答弁 検討はいたしております。ただ、路線バスの廃止等の折りには検討しなければいけない事と思えます。

質問 移動販売等、買い物困難者（難民）対策を早急に実施すべきでは。

答弁 高齢化や過疎化などの影響により、流通機能や公共交通網が弱体化することによる食料品や日用品などへの困難者、買い物弱者への対応には、移動販売や買い物代行、宅配、買い物の送迎などが想定されます。支援が必要となる方にはそういうサービスを提供するような形で検討して行かなければならないと思えます。

他に、手話言語条例について、消防団員の報酬引き上げについて質問しました。



ポイント還元事業
キャンペーン第2弾について



内田倫弘

都市計画マスタープラン



長田喜巳夫

質問

第1弾、商品券事業との比較結果は。

答弁

今回は対象店舗を120店舗、決済総額1億4400万円を目標としました。第1弾は、店舗数82店、決済総額4633万円でした。第2弾は、店舗数は125店、決済総額2億1510万円で、店舗数・決済額共に第1弾及び第2弾の目標値を上回る結果でした。商品券事業は、店舗数165店、8383万円で、地元商店への効果は、ポイント還元事業の方が効果が高いといった結果ができました。

質問

来年度の実施予定は。

この事業は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で行いました。アンケート結果からも第3弾を望む声が多く、期待に応えられるか慎重に検討したいと考えています。

質問

市長の見解は。

答弁

コロナ禍や原油・物価高の影響を受ける商店街等活性化に役立ち、子育て世帯にも波及効果が大きかったと認識しています。限られた予算です。商店街の活性化・子育て世帯への支援、高齢者のデジタル化の推進に向け、来年度の実施については、他の施策を含め総合的に勘案し検討します。

意見

光熱費の高騰は今後も続くとの報道もあり、生活は今まで以上に苦しく、商店も経営が圧迫される事が予測されます。是非、前向きに検討をお願いします。

質問

マスタープランについて

は、基準年度を平成26年度とし、今年が中間点である。行政は体制を整備し進捗管理を行い、検証・改善を図り推進するとしている。分野別まちづくりの方針では、土地利用、道路交通体系づくり、生活基盤づくりなど7分野について方向を明らかにし、また、地域・地区別まちづくりの方針も明らかにしている。現在の進捗状況をどう認識しているか。

答弁

実施目標時期を短期と定めた23項目は9割近くが完了、実施中で、中長期と定めた30項目は6割近くが実施中で、未実施項目については各課と調整を行い取り組んでいきます。全体の実施計画は策定されているか。

質問

まだ策定されていませんが、各事業の所管課と連携

答弁

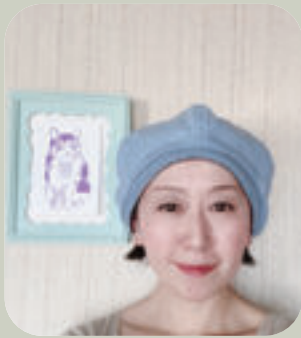
しながら進めています。分野別まちづくり、地域・地区別まちづくりを計画的にどう進めていくか。まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で実行できるよう庁内連携していきます。地域においては、廃校の跡地利用について、マスタープランの計画と一致している滞在型市民農園整備について要望書を提出しているところがある。協働のまちづくり推進のため早期の実現が求められている。

意見

他に、上野原市ビジョン、人口減少とまちづくり、地域おこし協力隊について質問しました。



市民の声



判画家
五十幡 知美さん

大自然が育む芸術

上野原市に移住して三年目になりました。太陽が燦々と降り注ぐ山の中のアトリエからは、大きな富士山が眺められます。草花のたたずまい、虫の音や鳥の声に季節の移ろいを感じながら、大自然の精妙な美しさを判画作品にしています。昨年、初めての個展を開催し、現在は、桐原地区の「ふるさと長寿館」、上野原駅南口地域活性化施設「ふらっと上野原」を拠点に活動しています。日頃から地域の皆様に応援していただき、最近では学生さんも作品を手にとってくださる機会が増えています。生き物たちが一斉に活動を始める、清々しい初夏は、私の一番好きな季節です。また9月の個展を楽しみに、制作に励みたいと思います。

※一般的には「版画家」ですが、ご本人が「判画家」としています。

6 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31 本会議 (初日)	6/1 議案調査	2 議案調査	3
			傍聴可			
4	5 委員会 予算特別	6 議案調査	7 委員会 総務産業 文教厚生	8 議案調査	9 議案調査	10
11	12 議案調査	13 本会議 一般質問	14 本会議 一般質問	15 本会議 一般質問 予備日	16 本会議 (最終日)	17
		傍聴可	傍聴可	傍聴可	傍聴可	

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

編集後記

1月22日投開票の上野原市議会議員選挙において14名の議員が誕生しました。5名の新人議員が加わり、2月に第1回臨時会、3月に第1回定例会が開かれ、新たに正副議長が決まり、議会運営委員会、各常任委員会の活動も始まりました。議会だより編集常任委員会も新たな体制になり本号の発行となりました。これからも皆様に親しまれ、わかりやすい紙面づくりに委員一同努めてまいります。（内田）



YouTubeのQRコードです



議会だよりのQRコードです

- 議会だより編集常任委員会
- 委員長 内田 倫弘
 - 副委員長 川田 好博
 - 委員 天野 淳一
 - 委員 佐藤 澄男
 - 委員 安留 俊介
 - 委員 山口 薫